

# 多々良川 下流～河口で 出会える鳥たち

ふくおかしつちほぜんけんきゅうかい  
ふくおか湿地保全研究会



福岡市東部を流れる多々良川。大都市圏を流れている川なのに、豊かな自然が残っていて、四季を通じていろいろな鳥たちが訪れます。代表的な鳥をまとめました。どんな場所にいるか、何をしているか…など、よく観察してみてくださいね。

ここに載っている以外にも、たくさんの鳥たちがやってきますよ。(07年12月末までで164種類の鳥が確認されています)

## 留鳥

ほぼ一年中、見られる鳥たち。



アオサギ 93cm



ダイサギ 90cm



コサギ 61cm



トビ  
♂59cm ♀69cm



カワセミ 17cm



ハクセキレイ 21cm

## 旅鳥

日本より北の国で子育てし、南の国で冬を過ごす鳥たちで、春や秋に日本を通過していきます。シギやチドリの仲間など。



チュウシャクシギ 42cm



トウネン 15cm



ハラシギ 15cm



アオアシシギ 35cm



キアシシギ 27cm



ソリハシシギ 23cm

## 夏鳥

初夏、南の国からやってきて子育てします。



コアシサシ 26cm



ツバメ 17cm



コチドリ 16cm



オオヨシキリ 18cm

## 冬鳥

寒い地方から、冬を過ごすためにやってきます。クロツラヘラサギ・カモ・カモメ・タカの仲間など。



クロツラヘラサギ 70~80cm



ハマシギ 21cm



ダイゼン 29cm



カワウ 82cm



ミサゴ  
♂54cm ♀64cm



ユリカモメ 40cm



ズグロカモメ 32cm



マガモ 59cm



キンクロハジロ 40cm



ヒドリガモ 48cm

[ 赤字は、環境省指定の絶滅危惧種。数字は、体長。]

上記の分類は、あくまでも原則です。夏に残っているカモ・冬を越すシギなどもあります。また、体の色(羽・くちばし・脚・眼など)が、季節や性別によって異なる種類もあります。

# 多々良川河口域で出会える生きものたち

ふくおかしゅつほぜんけんきゅうかい  
ふくおか湿地保全研究会



多々良川河口域で見ることが出来る代表的な生きもの(鳥以外)をまとめました。どんな生きものが、どんな場所にいるか、何をしているか…など、よく観察してみてくださいね。季節によって観察できる生きものは違います。ここに載っている以外にも、たくさんの生きものたちがいますよ。

## 魚

多々良川河口域は、多様な干潟環境があるため、多くの種類の魚たちがすんでいます。また、稚魚が育つ重要な場所になっています。(数字は、体長)



チクゼンハゼ 4cm



シロウオ 6cm



マハゼ 12cm



クサフグ 15cm



エドハゼ 4cm



トビハゼ 8cm



ウナギ 50cm



ボラ 50cm



ヒモハゼ 5cm

## 植物

多々良川河口域は、汽水域(海水と川の淡水が混じるところ)に生きる植物を、数多く観察できる市内でも貴重な場所です。



ウラギク (ハマシオン)



ハマサジ



フクト



秋、紅葉したハママツナ



アシ



シバナ

## 昆虫



ヨドシロヘリハンミョウ  
体長 9mm



ヒメアカタテハ 55mm



モンシロチョウ 50mm



ウスバキトンボ 50mm 位



キタテハ 60mm

\* チョウの大きさは、羽を開いた時

## カニ

多々良川河口干潟では、約20種類ものカニを観察することができます。砂・泥・小石・アシ原などの干潟環境にあわせて棲み分けています。(数字は、甲羅の幅)



ハクセンシオマネキ 1.8cm



シオマネキ 3.5cm



チゴガニ 1cm



アカテガニ 3.5cm



ヤマトオサガニ 3.5cm



ベンケイガニ 3.5cm



クロベンケイガニ 3.5cm



ウモレベンケイガニ 2cm



アシハラガニ 3cm



マメコブシガニ 2cm

[ 赤字は、環境省指定の絶滅危惧種 ] 多々良川には、絶滅が心配されている貴重な生きものが、たくさんいます。